

令和4年稲沢市教育委員会 第12回定例会会議録

1 日 時 令和4年12月20日(火) 午後1時30分～2時10分

2 場 所 稲沢市役所 政策審議室

3 出席委員 教育長 広沢 憲治
教育長職務代理者 江本 弘子
委員 城 義政
委員 伊藤 浩樹
委員 吉川 繁樹
委員 澤田 可奈子

4 説明のため出席した職員

教育部長 荻須 正偉
教育部長兼庶務課長 大口 伸 庶務課統括主幹 森 義孝
庶務課主幹 大崎 敬介 庶務課主幹 犬飼 貴志
学校教育課長兼指導主事 近藤 慎二 学校教育課統括主幹兼指導主事 松村 覚司
学校教育主幹兼指導主事 伊藤 実
生涯学習課長 佐藤 雅之 生涯学習課主幹 松尾 俊明
生涯学習課主幹 恒川 浩
スポーツ課長 江頭 弘幸
図書館長 塚本 ゆかり 図書館主幹 榎本 賢二
図書館主幹 水野 正己
美術館長 尾崎 登紀子
書記 庶務課 稲山 美佳

5 教育長報告

6 前回会議録の承認

令和4年第11回定例会会議録 承認

7 教育委員会報告

8 議事

- ・ 稲沢市立小中学校の休業日について
- ・ 令和4年度稲沢市一般会計補正予算案（教育委員会所管に関する補正予算）について

9 報告

- ・ 稲沢市教育委員会後援名義使用承認について

10 その他

- ・ 学校給食における地産地消の取組みについて
- ・ 稲沢市中学校制服検討委員会 シンポジウムについて
- ・ 令和5年稲沢市二十歳のつどいについて
- ・ 第34回稲沢シティーマラソンの結果について
- ・ 第15回愛知県市町村対抗駅伝競走大会について
- ・ 第43回絵になる町児童生徒絵画展について
- ・ 特別展の入場者数等について

11 次回開催予定日時

－ 開 会 －

◎教育長

それでは、令和4年第12回教育委員会定例会を開会します。

◎教育長

初めに、教育長報告ということで私から3点ほどお話をさせていただきます。

1点目は、ワールドカップサッカーに関することです。大変盛り上がって、いろいろなことが話題になっていましたけれど、報道の中で日本人のサポーターが、試合が終わった後の観覧席を掃除するということが話題になり、世界中から褒めていただいたということがありました。日本人の良いところが出たと私は思いますが、こうした雰囲気はそんなに簡単に何かを少し教えたら次の日からできるというものでもないわけで、大変難しいことだと思えます。それを日本が文化として引き継いできているということだと思えるわけです。こういう空気というのは、これからも我々が大事にして引き継いでいかなければいけな

いと思います。

2点目は、二十歳のつどいに関することです。昨年度までは成人式として行ってきましたが、成年年齢が変わったことで、今年度から二十歳のつどいに名前を変えてスタートします。このことはすでに教育委員会でも説明させていただいています。この二十歳のつどいに伴い、昨年までは成人式に伴ってですが、毎年20歳の方々の代表者に集まっていただき、市長と語る会を行っています。今年は15名が参加されました。その会に私も出席しましたが、市長と語る会ではグループに分かれて何かテーマを用意して、それぞれ市長に対し提案をするということを行っています。それに対し、市長が答えるという形で進めています。その中で、教育に関する提案が1点ありまして、教育に関わることだからということで私が答えました。私が答えた内容よりも私が言いたいのは、20歳の方々が教育に関心を持っていただけるのは大変ありがたいことだと思った次第です。しかもその内容が教員の多忙化解消だったのです。教育に関わる制度については代表者の人は知りませんので、提案の内容は残念ながらそのまま実行しますというわけにはいかないのですが、その場で私からお礼を申し上げました。教育に関心を持っていただけるのは大変ありがたい、しかも教員の多忙化解消ですから。先生方は大変なので、こうしたらもっとうまくいくのではないかという内容で、それ以上のことはないわけですが、そういう状況があるので、我々はどうしても悪くとらえがちですが、そうではないプラスのことも忘れずに目を向けなければいけないと思った次第です。

3点目は、少し前の新聞に発達障害に関する記事が大きく出ていました。我々にとって衝撃だったのは、発達障害の子どもたちが8.8パーセントいるのではないかということです。この8.8パーセントという数字はすごい数字で、十数年前初めて発達障害が話題になった時に、各学級の6パーセントほどが障害を持つ可能性があるという話が出まして、本当にそんなにいるのかとびっくりした記憶があります。今回は、それをさらに上回る8.8パーセントということで、単純に換算すると35人学級に3人くらい障害を持つ子が存在するということになります。もちろんその記事の中では、文部科学省の見解としてこう書かれていました。昔に比べて発達障害に対する理解が深まったので、その可能性があるという子を拾い上げている数が増えているのではないかという趣旨の文部科学省のコメントがありました。その辺りはどうなのでしょう。私は専門家ではありませんし、その8.8パーセントという数字は専門家が診断した数ではないということです。果たしてどうとらえれば良いのか、難しいところがあります。学校訪問で各学校を回らせていただいた中で私が感じているのは、

それくらいの数がいってもおかしくないのではないか。昔と比べて増えているのではないかということをおもっていきまして、だから何をやるということとはなかなか難しいのですが、特別支援教育についてもこれまでと違った目を見ていく必要があるのではないかなと思っております。

本日の私からの報告は以上とさせていただきます。

◎教育長

続きまして、3. 前回会議録の承認について、前回の会議録を順次お返ししますので、お目通しをいただき署名をお願いいたします。

◎教育長

次に、4. 教育委員会報告について、教育部長からお願いします。

(定例会事項1ページの資料に基づき、教育部長から報告)

◎教育長

教育委員会報告で何かご質問等、お聞きになりたいことがありましたらどうぞお願いします。

◎教育長

ないようですので、5. 議事に入ります。別添の議案書をお願いします。

承認案第5号「令和4年度稲沢市一般会計補正予算案（教育委員会所管に関する補正予算）について」は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第14条第7項ただし書きの規定により、「教育委員会の会議は、人事に関する事件その他の事件について、教育長又は委員の発議により、出席者の3分の2以上の多数で議決したときは、これを公開しないことができる」とされております。本件は、議会の議決案件に関する議案であり、事前協議となりますので、非公開とさせていただきたいと思っております。

賛成の委員の皆さんは挙手をお願いします。

(委員全員挙手)

◎教育長

全員賛成ですので、承認案第5号は、後ほど非公開で審議します。

◎教育長

次に移ります。議案第28号「稲沢市立小中学校の休業日について」を議題とします。学校教育課から説明をお願いします。

●学校教育課長

2ページをご覧ください。(議案第28号 朗読)

3ページをお願いします。令和5年2月3日につきまして、無形民俗文化財「国府宮はだか祭」の開催日が本年度は金曜日の授業日に当たるため、郷土の

伝統行事に参加・参観できるように市内全小中学校を休業日とするものでございます。

以上、よろしく願いいたします。

◎教育長

ただいま事務局から説明がありました。ご意見・ご質問はございませんか。

◎教育長

ないようですので、それではお諮りします。議案第28号を承認としてよろしいでしょうか。

(委員さんから異議なしの声あり)

◎教育長

異議なしと認め、議案第28号は承認されました。ありがとうございました。

次に、6. 報告事項に移ります。「稲沢市教育委員会後援名義使用承認について」を庶務課から説明をお願いします。

●庶務課長

定例会事項の2ページをお願いします。9ページにかけまして「稲沢市教育委員会後援名義使用承認一覧表」を掲載しております。ここに掲載のとおり、31件の後援名義使用承認申請につきまして、承認させていただきましたので、ご報告いたします。

◎教育長

ご質問等、お聞きになりたいことがありましたらどうぞお願いします。

◎教育長

ないようですので、次に移ります。続きまして、7. その他、何かありますか。

●庶務課長

学校給食における地産地消の取組みについて口頭で報告させていただきます。

学校給食における地産地消の取組みといたしましては、これまで、JA愛知西などの協力を得ながら、「愛知を食べる学校給食の日」など、年3回、6月、11月、1月の給食週間に市内産の「ミツバ」や「桃かぶ」、「ぎんなんきしめん」などを提供しています。

こうした取組みに加え、今年度初めての取組みといたしまして、稲沢高校の生徒が無農薬で育てたさつま芋を使用した献立「稲沢のさつまいもの味噌汁」を、11月30日市内全ての学校給食に提供しました。また、12月16日には化学肥料や化学合成農薬の使用削減に取り組む市内のエコファーマーが栽培する茄子を使用した献立といたしまして「マーボナス」を提供いたしました。それぞ

れ、稲沢北小学校と三宅小学校で取材させていただいておりました、11月30日の稲沢北小学校の様子は新年の広報1月号の表紙に掲載される予定です。また、12月16日の三宅小学校の様子は、市政広報番組「稲沢ふれあい通信」の中で「楽しみいっぱい学校給食」と題しまして、来年1月16日から31日まで1日数回、稲沢CATVと西尾張CATVにて、10分ほど放映される予定です。また、市のホームページからもアクセスできる予定ですので、ご覧いただければ幸いです。

今後とも少しずつではありますが、地産地消の取組みを広げていくとともに、引き続き安心安全な給食の提供に努めてまいりたいと考えております。

庶務課からは以上です。

●学校教育課長

「稲沢市中学校制服検討委員会シンポジウム」について口頭で報告させていただきます。

12月8日に、各中学校から1名ずつの代表生徒9名が、稲沢市勤労福祉会館に集まり、シンポジウムを開催しました。

はじめに、現在の制服の問題点や新しい制服に求めること、取り入れたいデザインなどについて、事前に各中学校で集約した意見や要望を発表しました。その中で、セーラー服は「体温の調節がしづらい、腕を上げるとインナーが見える」、スカートは「冬場は寒い、自転車に乗るときにめくれが気になる」、詰め襟の学生服は「首もとがきつい、ホックが留めにくい、動きづらい、袖のボタンが邪魔」といった問題点や困っている点が出されました。

そこから、「動きやすく、伸縮性のある軽い制服」、「体温調節がしやすい制服にしたい」、「男女ともブレザーに変えるとよい」、「ジェンダーフリーの観点から男女問わず、スカートとスラックスを選択できるようにしたい」といった新制服に求めることが出されました。また、稲沢らしさとして「稲沢市の市章やいなッピーをデザインに取り入れたい」、「稲沢市から連想する緑、イチョウ、桜などをイメージした色を取り入れたい」、「学校ごとに、ボタンやワンポイントを工夫したい」などの意見が出されました。

その後、縫製メーカーと意見交流をする時間を設け、生徒からの要望に対する縫製メーカーからのていねいな回答や、実際にサンプルとして用意された制服を着ることで、自分たちが指摘した問題点が解消されることを実感することができました。また、チョークの汚れへの対応や、ポロシャツの導入など、生徒から積極的に意見や質問をする姿も見られました。話し合いの中で各校の違いを出すためにワッペンを各校で考えることになり、今後デザイン

の公募を進めることになりました。検討委員の保護者代表や、教員代表からも質問や意見が出され、今後新制服を決めていく上で、有意義な会となりました。

次回、第3回の検討委員会を1月に行い、シンポジウムで出されました生徒の考えや思いを反映させた試作品について検討し、何案かを作成する予定です。5月頃には、児童生徒の投票により、新制服のデザインを決定し、8月から9月頃に新しい制服をお披露目したいと考えています。

学校教育課からは以上です。

●生涯学習課長

令和5年稲沢市二十歳のつどいについて連絡させていただきます。今年度につきましては、令和5年1月9日、例年とは異なり月曜日の祝日に開催させていただきます。また、豊田合成記念体育館「エントリオ」が会場となります。12月1日現在で今年度20歳になる対象者につきましては、1,382名となります。午前10時から開催を予定しています。委員の皆様には12月12日付けで案内させていただいていますが、同封させていただきました赤色の駐車券を車のダッシュボードに置いてご来場いただきますようお願いいたします。また、今回初めての会場ということで、駐車場の件で皆様にはご迷惑をお掛けするかも知れませんが、委員の皆様にはエントリオ内に駐車場をご用意しています。赤色の駐車券が目印となりますので、よろしくようお願いいたします。また、退出時には混雑が予想されますので、気をつけて退出していただきますようお願いいたします。

生涯学習課からは以上です。

●スポーツ課長

スポーツ課からは2点報告させていただきます。

1点目は、「第34回稲沢シティーマラソン」の結果について説明させていただきます。先月11月13日の日曜日に陸上競技場をメイン会場として開催しました「第34回稲沢シティーマラソン」に委員の皆様ご臨席を賜り誠にありがとうございました。今回は1,928人の申込み、当日は1,543人の参加があり、3年ぶりの開催でありましたが、大きな事故、トラブルもなく無事終了することができました。結果は、配付させていただきました資料のとおりです。今回、10kmの4部「50歳以上男子」、7部「30～40歳代女子」の2部門で大会新記録が出ております。来年度は、11月12日の日曜日に開催する予定をしておりますので、よろしくようお願いいたします。

続きまして、2点目は「第15回愛知県市町村対抗駅伝競走大会」について説明させていただきます。来月1月14日の土曜日、愛・地球博記念公園を会場に、

県内54市町村が参加し、3年ぶりに第15回愛知県市町村対抗駅伝競走大会が開催されます。本市も、資料に掲載のとおり代表チームを編成して、大会に出場いたします。東海テレビでは、当日生放送が予定されております。チーム一丸となって頑張ってもらいますので、応援をよろしくお願いいたします。

スポーツ課からは以上です。

●美術館長

美術館からは2点お願いいたします。

はじめに、「第43回絵になる町児童生徒絵画展」についてでございます。資料として展覧会目録をお配りしています。市内小中学校の児童生徒が描いた稲沢の風景画を、学校を通じて募集したところ、表紙をはねていただいた2ページ目の表にありますように、今年度は809点の応募をいただきました。審査の結果、入賞54点、入選196点、合計250点の作品を展示いたします。会期は令和5年1月4日から15日まで、会期中の休館日は10日・11日でございます。また、入賞者54名を対象とした表彰式を1月9日に行う予定です。素晴らしい作品が揃っております。ぜひご高覧ください。

続きまして、「特別展の入場者数」等について口頭で報告します。10月22日から開幕した、令和4年度の特別展「藤島武二 スケッチ百花 -大川美術館コレクションと名品の彩り-」につきましては、12月4日、日曜日に無事閉幕いたしました。これもひとえに、教育委員の皆様はじめ、多くの方に支えられたおかげと、深く感謝申し上げます。

今年度特別展の観覧者数は4,590人で、コロナ禍前の令和元年度の特別展「木村伊兵衛 パリ残像」の4,409人を若干上回り、比較的多くの方にご観覧いただけたと思っております。また会期中、市内小学校6年生を対象に鑑賞教育を開催し、6年生の児童の皆さんに、展覧会を観覧いただきました。なお、来場者を対象としたアンケートを実施しており、現在集約中ですが、自由意見欄をさっと拝見したところ「藤島さんの模写は初めてで嬉しかった」「絵がテーマ別に並べられているのが素人にもわかりやすかった」などの意見をいただきました。

美術館からは以上です。

◎教育長

ご質問等、お聞きになりたいことがありましたらどうぞお願いします。

◎教育長

ないようですので、続きまして次回開催予定日時について、教育部長お願いします。

(教育部長から説明)

◎教育長

次回開催予定日時でございました。これより承認案第5号の審議に入りますので、傍聴人の方は退席してください。

次回開催予定日

令和5年1月17日（火） 午後1時30分 議員総会室

－ 閉 会 －

令和5年1月17日

教 育 長

職務代理者

委 員

委 員

委 員

委 員

書 記